

“Super Brain1”本体・バッテリー の充電の仕方についての注意事項

“Super Brain1”のバッテリーは「**ニッケル水素電池**」を使用しています。

その理由は、ご存じのようにスマホ・携帯等に使用される「**リチウムイオン電池**」は特に飛行機等の中で**発火の恐れ**があるため**運送業者に輸送を拒否**されるためです。従って、こうしたトラブルを避ける為にあえてこの“Super Brain1”はニッケル水素電池を使用しているのです。

ここで「ニッケル水素電池」と「リチウムイオン電池」との充電の際の**特徴の違い**を下記に明記します。

種類	ニッケル水素電池	リチウムイオン電池
安全性	・ 発火や爆発の危険性がほとんどない	・高温で 発火や爆発の危険性あり ・過充電や過放電でも 発熱の恐れ があります。
充電のしかた	<p>★電池を使い切らず、こまめに充電すること。</p> <p>[※電池容量の30%以上で使用すること]</p> <p>電池の容量が少なくなっても更に放電させようとする(過放電状態)と寿命が短くなります</p> <p>★使わずに放置される時間が長くなると容量の自然減少の度合いが大きい傾向にある</p> <p>・1年以上、使用のない場合には部品劣化や過放電などにより、電池性能が劣化することがある</p> <p>★直射日光・高温・多湿での使用は厳禁</p>	<p>★100%充電されているのに充電を継続することを「過充電」といいます。この過充電は、電池の異常発熱を引き起こし、それが発火につながることもあります。</p> <p>※充電する際は8割程度で充電を止める</p> <p>★0%の状態もまた寿命を縮める要因のひとつです。</p> <p>充電0%が継続されることで「過放電」が起こり、過放電状態が続くと必要最低限の電圧を下回る「深放電」状態になります。深放電になるとリチウムイオン電池は著しく劣化し、再び電気を貯めることは難しくなる。</p> <p>となります</p>
寿命の目安	・ 使用可能時間が半分程度 になった時は バッテリー交換時期	